

ロケーション &
アクセス

Location & Access



高崎河川国道事務所

〒370-0841 群馬県高崎市栄町6-41

TEL. **027-345-6000** (代表)

河川に関する情報やお問い合わせは

河川管理課 TEL. **027-345-6041**

工務第一課 TEL. **027-345-6045**

高崎出張所

〒370-0042 高崎市東町187-10

河川に関する情報やお問い合わせは

高崎出張所 TEL. **027-322-2597**



国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所

<http://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/>



RIVER GUIDE

烏川・神流川

KARASU RIVER / KANNA RIVER

川と、暮らしと、安全と。



国土交通省 関東地方整備局

高崎河川国道事務所

群馬県内の河川は、南北に流れる利根川を大動脈として、
利根川水系の各河川が葉脈のように県全域に張り巡らされています。
山々から湧き出た幾筋もの川は、豊かな水量と肥沃な土壌をもたらし、
古くから川や地形を利用した農作物の栽培、舟運などが盛んに行われ、
群馬一帯の発展の原動力となり、
現在でも人々の生活や経済活動を支えています。

4つの川

河川は、公共空間として地域の皆様が安全に利用できるよう、
そして、洪水などの災害の発生を防ぎ暮らしを守るため、
国や自治体によって管理されています。
国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所では、
烏川・神流川・鍬川・碓氷川の一部34.4kmとダム区間
(矢木沢ダム、須田貝ダム、奈良俣ダム、下久保ダム)
40.49kmの計78.49kmの河川管理を担当しています。



烏川



流路延長 **61.8km** / 流域面積 **470km²**

烏川は利根川水系の一級河川。群馬県と長野県の県境にそびえる鼻曲山(1,654m)を源流とし、榛名山の西と碓氷丘陵の東の斜面境を東南方向に流れ、平野部に入ってから碓氷川、鍬川、神流川の西毛の三大河川を合わせて利根川に合流しています。流域の約80%が山地で、上流の榛名地域では河岸段丘を利用した梨と桃の栽培が盛んです。流域には高崎市街地が広がっています。

神流川



流路延長 **87.4km** / 流域面積 **407km²**

神流川は群馬・長野・埼玉三県の県境となる三国山を源流とし、群馬県南西部の狭隘な地形を縫うように流下しています。V字型の谷は急斜面を形成し、また、平均河床勾配も1/20と利根川上流の支流としては比較的流れが急な河川です。流域には不二洞や、太古の恐竜の足跡の化石、三波石峡などの観光スポットが多数あります。

鍬川



流路延長 **58.8km** / 流域面積 **632km²**

鍬川は、群馬県と長野県の県境にある内山峠から流れ出し、国道254号と並行して東へ流れ、高崎市南部で烏川に合流します。西牧川(鍬川)と南牧川とが合流する下仁田町では、3段の河岸段丘が発達し、ここでは狭い河岸段丘面と山麓斜面の段々畑を利用してコンニャクが栽培されています。

碓氷川



流路延長 **37.6km** / 流域面積 **291km²**

碓氷川は、群馬県と長野県との境に端を発し、国道18号と並行しながら安中市を経て烏川と合流しています。松井田地域周辺では、流域付近の湧水を利用してわさび栽培などが行われています。また、河川の水を使った稲作も盛んです。

高崎河川国道事務所の管理区間

- 左岸 群馬県高崎市並榎町532番地先
右岸 群馬県高崎市豊岡町大字下北久保861番地先
●上記左岸・右岸から利根川への合流点まで

管理延長
19.0 km

- 左岸 群馬県藤岡市大字浄法寺字平954番の1地先
右岸 埼玉県児玉郡神川町大字新宿字寄島581番の4地先
●上記左岸・右岸から烏川への合流点まで

管理延長
11.6 km

- 左岸 群馬県高崎市山名町字田中地480番の1地先
右岸 群馬県藤岡市大字上落合字長津506番地先
●上記左岸・右岸から烏川への合流点まで

管理延長
3.0 km

- 左岸 群馬県高崎市下豊岡町字西元屋敷488番の3地先
右岸 群馬県高崎市乗附町字内田1225番の2地先
●上記左岸・右岸から烏川への合流点まで

管理延長
0.8 km

暮らしを支える 4つのダム



高崎河川国道事務所の管理区間には4つのダムがあり、皆さんの生活をえています。

1 利根川・奈良沢川 矢木沢ダム



アーチ式コンクリートダム



〔利根川〕
管理延長 **18.0km**

- 左岸 群馬県利根郡みなかみ町大字藤原字大白沢地先
- 右岸 群馬県利根郡みなかみ町大字藤原字大利根地先から

〔奈良沢川〕
管理延長 **4.5km**

群馬県利根郡みなかみ町大字藤原字奈良沢地先 ●利根川への合流点まで

2 利根川 須田貝ダム



重力式コンクリートダム



〔利根川〕
管理延長 **18.0km**

- 左岸 群馬県利根郡みなかみ町大字藤原字須田貝5290番の1地先
- 右岸 群馬県利根郡みなかみ町大字藤原字芹沢6370番の1地先まで



3 榑俣川 奈良俣ダム



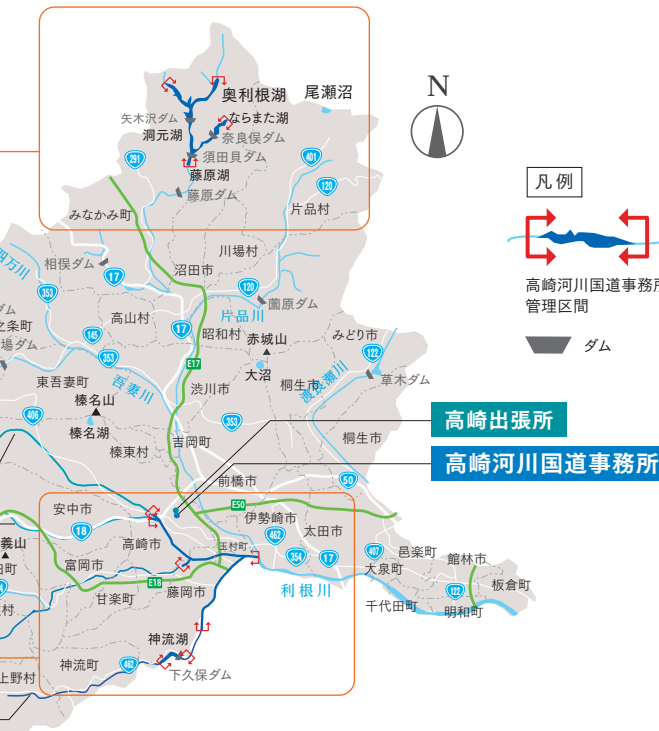
ロックフィルダム



〔榑俣川〕
管理延長 **5.97km**

- 左岸 群馬県利根郡みなかみ町大字藤原字平弦国有林 林59林班ろ小班地先
- 右岸 群馬県利根郡みなかみ町大字藤原字矢種国有林54林班い小班地先

●上記左岸・右岸から利根川への合流点まで



4 神流川 下久保ダム



重力式コンクリートダム



〔神流川〕
管理延長 **12.02km**

- 左岸 群馬県多野郡神流町大字柏木字中開戸地先
- 右岸 群馬県多野郡神流町大字麻生字西向地先から

左岸 群馬県藤岡市大字譲原字下久保1922番の乙地先
右岸 埼玉県児玉郡神川町大字矢納字山崎1335番の2地先まで

ダムの役割

洪水調節

台風や大雨のときに、ダムに水を貯めて下流の洪水の被害を少なくします。



流水の正常な機能の維持

年間をとおして安定した川の流れを保つために水の少ないときに、ダムに貯めた水を流します。さらに洪水と一緒に土砂を流すことにより、河川環境の復元を行います。



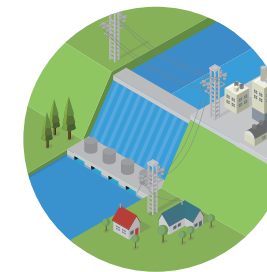
利水

雪解け水や雨などにより川の水が多い時に、ダムに貯めた水を水道用水や農業用水等に利用しています。



発電

水が高いところから低いところへ落ちる力を利用して電気をつくる水力発電を行っています。安定して安全な電力を供給できます。



河川の見どころマップ！

自然や景観をバーチャル探訪！

豊かな自然や景観、歴史建造物など、河川には様々な魅力を持った場所や空間があります。
高崎河川国道事務所管内における河川スポットを360度画像などを通じて紹介します。

1 鳥川・碓氷川合流部



碓氷川は高崎市の市街地周辺で鳥川へと合流します。鳥川の左岸側では、高崎市と民間事業者で連携した展望レストハウス等の整備が検討されています。



2 鳥川・鍬川合流部



鍬川は高崎市南部で鳥川と合流します。合流部では、高崎市民ゴルフ場の跡地を利用した運動場の整備が計画されています。



3 新鍬川橋



高崎市と藤岡市の連携強化、交流促進、現道の渋滞解消等を目的に、令和2年10月に供用開始となった重要な役割を担う橋梁です。



4 鳥川・神流川合流部



神流川は埼玉県と群馬県の県境付近で鳥川へと合流します。鳥川と神流川に挟まれた新町には陸上自衛隊の駐屯地があります。



5 神流川橋



国道17号の交通渋滞の緩和、事故対策、神流川橋の防災・減災対策等を目的に、令和4年12月に暫定開通した橋梁です。



6 鳥川・利根川合流部



各河川の流れが合わさった鳥川は、流域面積が日本一、流路延長が日本第2位の大河川である利根川へと合流します。



7 神流川頭首工



地域の農業や暮らしを支える、河川の流水を用水路に引き入れる施設です。かつて流域で起きた、農業用水をめぐる「水争い」を解消するため、6か所の堰を統合し完成したものです。



鳥川・神流川を映像で空中散歩



“流域”における 私たちの 暮らしと洪水

流域とは

降った雨や溶けた雪は地表を流れて川に流れこみます。雨や雪が流れ込む範囲をその川の「流域」といいます。
どの場所がどの川の流域かは、分水嶺と言われる山や丘によってわかれています。

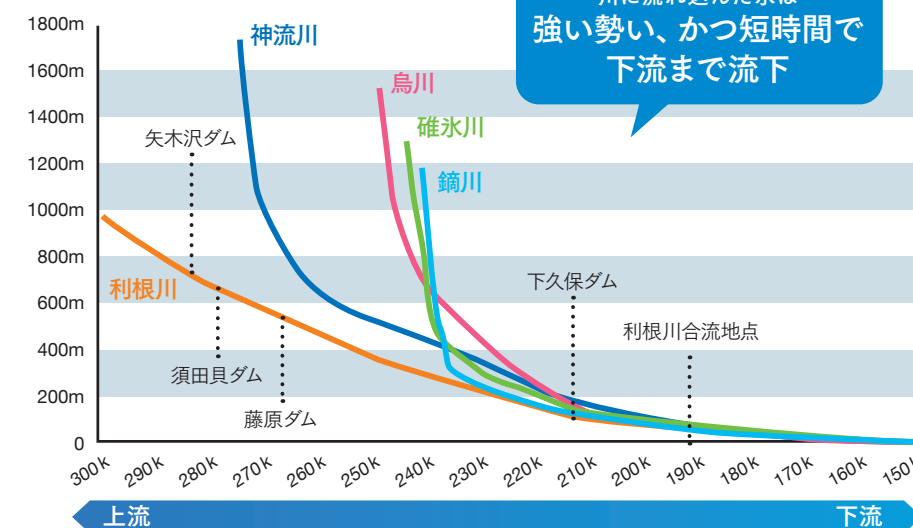


烏川・神流川の 地形の特徴

烏川・神流川など各河川は勾配が大きい急流河川となっており、豪雨の時などに水位が急激に上昇しやすい地形になっています。



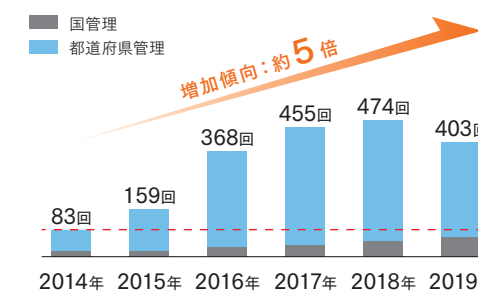
■ 烏川・神流川縦断面図



今後も 起こり得る洪水

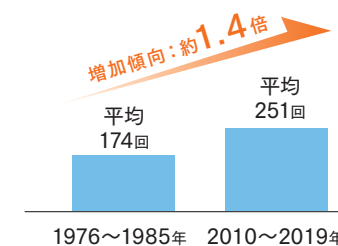
近年、気候変動の影響により水災害の激化・頻発化が見られ、令和元年台風第19号（東日本台風）をはじめ、全国各地で毎年のように水害や土砂災害が発生しています。山地と平地が組み合わさっている特徴がある烏川・神流川流域では、山地では土砂災害、平地では洪水氾濫などが今後増大する可能性があります。

■ 全国における氾濫危険水位を超過した河川数



出典：国土交通省「国土交通白書2021」

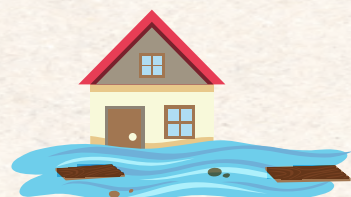
■ 全国における短時間強雨（50mm/h以上）の年間発生回数



出典：国土交通省「国土交通白書2021」
※アメダス1,000地点あたりの発生回数

流域における 過去の主な水害

県土の約2/3が山岳地帯である群馬県では、河川が首都圏の水源として、また水力発電によるエネルギー源として大きな役割を担ってきました。一方で、台風による洪水、浅間山の噴火など過去に幾度となく災害を被り、災害を教訓に河川整備基本方針・河川整備計画が策定され、上流部にはダムをつくり、下流部では河川改修事業を進めてきました。



昭和10年 9月洪水 台風

1935（昭和10）年9月24日、九州宮崎付近にあった台風が突然北東に進路を変え、台風等による前線が上信地方に豪雨をもたらしました。9月24・25日の2日間の降水量は三ノ倉（旧倉沢村）で402.5mm、安中で314.3mmに達し、豪雨は10時間余りも続き、烏川の上流域と碓氷川支流の九十九川流域で山津波（土石流）が発生。当時の群馬郡で40人、碓氷郡で83人もの死者が出るという惨事となりました。

昭和10年9月
台風10号による
水害（高崎市）



昭和22年 9月洪水 カスリーン台風

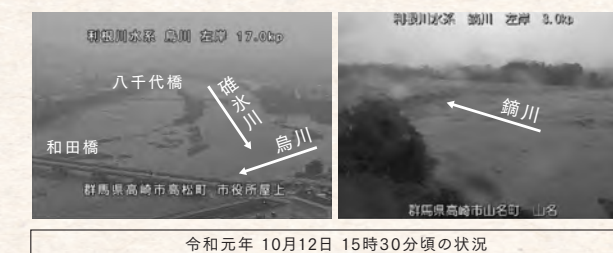
1947（昭和22）年9月のカスリーン台風は、15日に駿河湾の南方沖を通過、さらに房総半島の南部を横切りました。台風が接近する前に、本州には停滞した前線が13日から大雨をもたらしており、台風の影響と重なり、特に南東に面した山岳斜面では300mmから500mmにもおよぶ降雨を記録しました。この大雨により利根川は増水、現在の加須市において堤防が決壊し、その濁流は3日かけて東京湾にまで達しました。群馬県内でも土石流や河川の氾濫により、死者・行方不明者699人、浸水家屋7万戸という甚大な被害が発生しました。

カスリーン台風で
落橋した烏川に架かる
岩倉橋（玉村町）

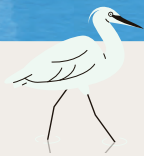


令和元年台風 第19号 東日本台風

2019（令和元）年10月12日、台風第19号は伊豆半島に上陸し、関東甲信地方と東北地方を通過。東日本から東北地方の広い範囲で大雨や暴風をもたらし、下仁田雨量観測所（群馬県甘楽郡下仁田町地先）における24時間降水量が既往最大の607mmを記録するなど、多くの地点で記録的な大雨となり、13都県で大雨特別警報が発表されました。この影響で河川の氾濫が相次ぐなど、大きな被害が発生しました。烏川・神流川流域においては、堤防決壊こそなかったものの、多くの河川管理施設等が破損・流出するなど被害を受けました。



地域の安全・安心な暮らしを実現するため これからの川づくりは「流域治水」へ



水害や土砂災害から、地域の皆様の命と暮らしを守るためには、
国や自治体等の取組だけでは限界があります。
そのため、国、流域自治体、企業、住民の方々等のあらゆる関係者が協働して、
流域のあらゆる場所で行きわたる治水対策「流域治水」を推進しています。



流域治水の推進

「流域治水」の推進にあたって、令和2年8月に
「烏川・神流川流域治水協議会」を発足し、
取組を進めています。

広報映像

烏川・神流川
流域治水
プロジェクト



解説アニメ

流域治水って
なに？



烏川・神流川流域治水協議会



流域治水の対策の考え方

集水域 雨水が河川に流入する範囲
氾濫域 河川等の氾濫により浸水が想定される範囲
河川区域 基本的には堤防と堤防にはさまれた区間

[]: 想定される対策実施主体（県：都道府県、市：市町村）

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 集水域**
 - 雨水貯留機能の拡大
〔県・市、企業、住民〕
 - 雨水貯留浸透施設の整備、ため池等の治水利用
- 河川区域**
 - 流水の貯留
〔国・県・市・利水者〕
 - 治水ダムの建設・再生、利水ダム等において貯留水を事前に放流し洪水調節に活用
〔国・県・市〕
 - 土地利用と一体となった遊水機能の向上
 - 持続可能な河道の流下能力の維持・向上
〔国・県・市〕
 - 河床掘削、引堤、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備
 - 氾濫水を減らす
〔国・県〕
 - 「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等

2. 被害対象を減少させるための対策

- 氾濫域**
 - リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫
〔県・市、企業、住民〕
 - 土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討
 - 浸水範囲を減らす
〔国・県・市〕
 - 二線堤の整備、自然堤防の保全



3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 氾濫域**
 - 土地のリスク情報の充実
〔国・県〕
 - 水害リスク情報の空白地帯解消、多段階型水害リスク情報を発信
 - 避難体制を強化する
〔国・県・市〕
 - 長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握
 - 経済被害の最小化
〔企業、住民〕
 - 工場や建築物の浸水対策、BCPの策定
 - 住まい方の工夫
〔企業、住民〕
 - 不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進
 - 被災自治体の支援体制充実
〔国・企業〕
 - 官民連携による TEC-FORCE の体制強化
 - 氾濫水を早く排除する
〔国・県・市等〕
 - 排水門等の整備、排水強化

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



烏川上流部の築堤状況（左：築堤前 右：築堤後）



計画堤防ライン
平成10年 9月
洪水浸水エリア
平成12年 9月
洪水浸水エリア
令和元年 10月
洪水浸水エリア

森林整備センター 水源林造成事業による森林整備・保全

奥地水源地域の民有保安林を整備し、森林の有する公益的機能の高度発揮を図ります。



水資源機構 下久保ダム管理所 事前放流などの防災操作

台風などにより下流の河川があふれ洪水になるのを防ぐために、事前放流などのダムの機能を最大限に活かした防災操作を行います。



被害対象を減少させるための対策

玉村町 河川監視カメラの設置

豪雨や台風時における河川周辺住民の適切な避難判断を促すため、過去に浸水被害が発生した箇所に監視カメラを設置し、浸水状況をリアルタイムで確認することで早期避難を促し、被害を未然に防ぎます。



設置したカメラ



HPに掲載しているカメラの画像及び稼働状況

烏川で実施している河川工事をバーチャル見学！（令和4年度及び5年度実施工事）



1 烏川右岸 井戸沢川護岸工事

上流護岸他工事



烏川本川から逆流してきた水が溢れないように、支川・井戸沢川において護岸の設置工事を行っています。

下流護岸他工事



2 烏川右岸 石原第2樋管撤去工事

役割を終えた樋管の撤去工事を行っています。



完了

3 烏川右岸 金井沢川護岸他工事

烏川本川から逆流してきた水が溢れないように、支川・金井沢川において護岸の設置等の工事を行っています。



完了

4 烏川右岸 根小屋 第4排水樋管新設工事

井戸沢川と一本松橋までの区域の排水対策として樋管の新設工事を行っています。



完了

5 烏川右岸 八町河原 地先堤防補修工事

堤防の補強工事として、堤防を拡幅し、護岸等を設置しています。



完了

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

高崎市新町 防災アリーナの建設

洪水浸水想定区域が広がる新町地域の緊急避難対策として建設しました。



藤岡市 防災公園の整備

大規模災害時には仮設住宅の設置や支援物資の集配拠点として、平常時には市民の憩いの場として活用するため、大規模災害時の復旧・支援の活動拠点として4.1haを整備しました。

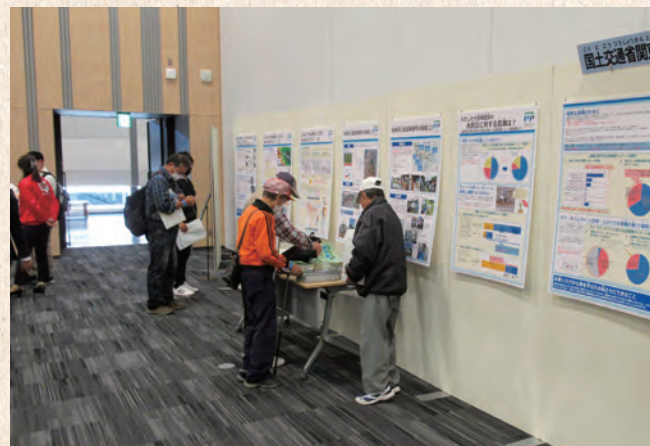


住民参加による 流域治水の 取り組み



烏川・神流川流域における 水防災フォーラム

流域治水の取組等について、地域住民の皆様と一緒に理解を深めるため、基調講演、屋内展示、マイ・タイムライン作成会等の内容を盛り込んだ水防災フォーラムを開催しました。



流域治水パネルを見る参加者
(令和3年11月)

住民参加型 現地視察会

流域治水プロジェクトのメニューである藤岡市防災公園の完成後、現地視察会を開催し、地域住民（区長）と意見交換を実施しました。



現地視察会の開催状況
(令和3年12月)

住民の皆様にご協力いただきたいこと

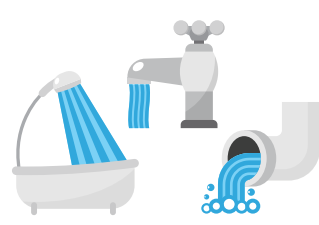
排水溝の清掃

洪水時には、雨は道路に沿って設置されている排水路をつたって川へ流れ出ます。排水路に落ち葉などがたまっていると、雨水が流れません。晴れているときに道路の清掃をしておきましょう。



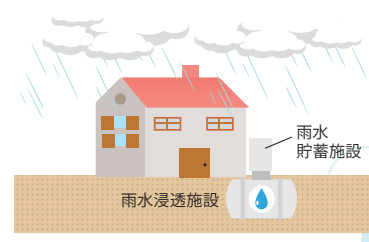
家庭からの排水を減らす

洪水時に、川や下水道を流れる水を減らすためには、家庭からの排水量を減らすことも大切です。大雨によって川が氾濫しそうな時は、お風呂や洗濯の水をできる限り流さないようにしましょう。



雨水タンクによる雨水の利用

屋根に降った水を「雨水タンク」に溜めて、雨水を庭の散水などに活用しましょう。限られた水資源を大切に使うことで、水道料金も安くなります。



良好な河川環境の創出

～グリーンインフラの取組～

グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組です。

流域治水プロジェクトにおいて、グリーンインフラの取組を反映し、治水と環境の両立した取組をスタートしました。
生物の多様な生息環境の保全・創出、地域の自然環境と調和する景観形成等の環境の取組についても流域のあらゆる関係者とともに推進してまいります。

かわまちづくり

堤防や護岸を整備して、川とまちが一体となった地域の憩いと賑わいの場を創出に取り組んでいます。



完成した階段護岸の状況(平成29年8月)



河川敷地のオープン化
社会実験
「天の川フェスティバル」
(令和元年7月)



花火大会の利用状況

かな川水辺の楽校

「多様な河川環境を極力生かしながら、安全に自然体験や環境学習できる」というコンセプトのもと、整備されたスポットです。
水辺での遊び、自然体験・学習の場として子供達の健やかな成長を支え、育んでいます。

自然体験の様子



環境学習の様子



私たちができる 防災・減災対策

水害が起こった時に逃げ遅れないようにするためには、事前の準備が大切です。
川の水位に応じた避難計画を予め計画しておき、洪水発生時には国土交通省などが
提供している河川の防災状況などをご活用ください。

水害等のリスクを事前に確認

ハザードマップ

自分の住んでいる場所の水害に関するリスクについて、洪水時に予測される浸水の範囲や避難情報などが載っているハザードマップで事前に確認いただけます。ハザードマップは各市町村で作成されており、ハザードマップポータルサイトからチェックすることができます。



ハザードマップポータルサイト

浸水ナビ

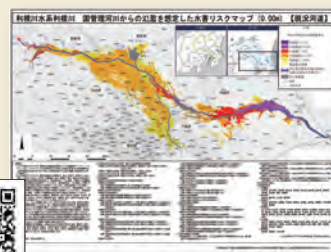
浸水想定区域図を電子地図上に表示するウェブサイトです。どの河川のどこかの地点が決壊（破堤）したら、自宅や会社などが浸水するのかなど確認できます。



浸水ナビ

水害リスクマップ

様々な規模の洪水の浸水想定図を重ね合わせて、浸水頻度を示した水害リスクマップも公表されています。



水害リスクマップ

河川に関する情報サイトを活用

国土交通省及び高崎河川国道事務所では、防災行動に活用いただける河川の状況に関する様々なリアルタイム情報を提供しています。

防災情報提供センター

国土交通省が保有する防災情報を集約して、わかりやすく提供しています。



川の防災情報

水位・雨量などの情報のほか、洪水予報、ダムの情報などが見られます。



リアルタイム情報

高崎河川事務所管内における河川のライブカメラ映像、雨量情報、水位情報などを提供しています。



川の防災情報



リアルタイム情報

解説アニメ

洪水時逃げ遅れないために



水害時の避難行動を「マイ・タイムライン」であらかじめ計画

マイ・タイムラインは住民一人ひとりのタイムラインであり、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるものです。時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また避難判断のサポートツールとして活用いただけます。



※1 気象庁が発表する大雨注意報等の発表時間はイメージで記載しています。
※2 避難指示等のタイミングは市町村によって異なります。市町村のタイムラインを確認してください。

想定される行動



クイズで学ぼう！

マイ・タイムライン
シミュレーションアニメを
公開中！

マイ・タイムラインを
作ろう！

事前の準備で
安全な避難を！



動画は
こちら！



マイ・タイムライン
（個人の避難行動計画）

簡易作成
キットを
ダウンロード
↓



安全・安心な暮らしを実現するための維持管理

施設の維持管理・川の状況調査

維持・修繕事業

堤防、護岸、排水樋管等の河川管理施設が、それぞれ十分な機能を発揮できるよう堤防の補修、除草、護岸や樋管の維持修繕等を行い、維持管理に万全を期しています。また、維持管理にかかるコスト削減のため、伐採した樹木をチップ化するなどの取組を進めています。



伐木破砕（チップ化）



堤防除草

河川巡視

河川管理施設の変状の確認に加え、不法行為等の監視のため、パトロールカーによる巡視、CCTVカメラによる監視を行っています。また、ゴールデンウィークや夏休み前には、河川利用者が安心して河川を利用できるかという観点で、安全利用点検を行っています。



パトロールカーによる巡視

河川状況・水質・環境等の調査

河川管理上の重要な基礎資料として、雨量・水位・流量の観測、水質調査を長年継続して行うほか、河川水辺の国勢調査として、河川に生息する生物等に関する調査を実施しています。河川状況のリアルタイムデータは洪水・浸水対策に活用されています。



水位標



水位観測所

堤防点検

堤防の状況が確認できるよう除草を行った後に、徒歩を中心とした目視により点検を行います。堤防に生じる陥没や亀裂、樹木群などの変状を一つずつ把握し、出水期までに適切な対策を行います。



堤防損傷箇所の確認状況

河川愛護月間

国土交通省では、昭和49年から毎年7月を「河川愛護月間」と定め、河川愛護運動を実施しています。毎年地方整備局や自治体が主体となり、地域住民、市民団体、河川愛護団体、関係行政機関等の協力を得て、流域全体

の良好な河川環境の保全・再生、国民の河川愛護の意識の醸成を図っています。また、7月1日～7日を「河川水難事故防止週間」と定め、河川利用者の安全意識向上を図っています。



地域住民との協働による河川管理

鳥・神流川クリーン作戦

河川愛護月間の一環として、管内5自治体（群馬県高崎市、藤岡市、玉村町、埼玉県神川町、上里町）と共同で、昭和63年より「鳥・神流川クリーン作戦」を実施しています。地域ボランティアの方々や河川敷を利用するスポーツ団体の皆様など、毎年多くの方のご協力を頂き、たくさんのゴミが回収され、美しい河川環境づくりを実現しています。



クリーン作戦におけるゴミ回収

河川協力団体制度

自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行う民間団体等を支援するものです。河川協力団体としての活動を適正かつ確実に行うことができると認められる法人等が対象となり、河川管理者が申請を受け、適正な審査のうえ、河川協力団体として指定します。



河川協力団体による樹木の伐採状況

アダプトプログラム

「協働の河川管理」推進のため、河川管理者と地域の市町村及び活動団体の3者で協定を締結し、活動団体を支援する制度です。鳥川の河川敷では、ボランティア団体のご協力により、除草、植栽などの美化活動が行われています。



河川敷の美化活動

水生生物調査による水質の簡易調査

水生生物の分布状況を調べることで、参加者に身近な河川の水質状況、河川の水質改善の必要性、河川愛護の重要性を認識して頂くことを目的として、鳥川・神流川の水質調査を管内の小・中学校のご協力により、昭和59年度から水生生物調査を実施しています。



水生生物調査

官民連携による公募型樹木等伐採（試行）

従来より高崎河川国道事務所では、河川敷に繁茂する樹木の伐採・処分を行っていましたが、伐採した樹木については、有用な木材として活用できることから、経費の縮減と木材資材の有効利用を図るため、公募型による樹木の伐採を試行しています。



伐採前



伐採中



伐採後

河川を正しく
安全に利用するために

水難事故にご注意を

Step お出かけ前にチェック

1

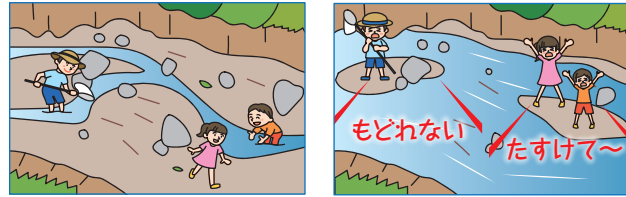
- 天気予報を必ずチェック
- 川のパンフレットで川の特徴などを知っておく
- 川に入る場合はライフジャケットを着用



Step こんな場所に注意

3

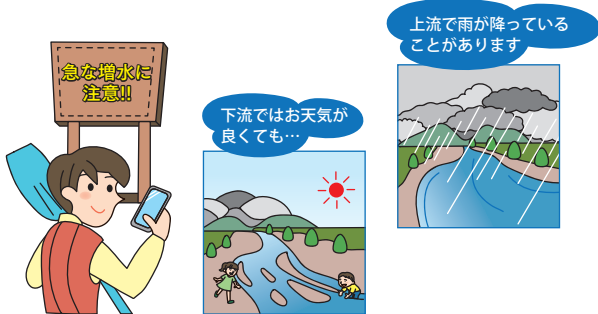
- 中州は、増水したら取り残される可能性がある
- 流れの速いところは足を取られて危険
- 浅く見えるところでも急に深くなっているところがある



Step 川にいたらチェック

2

- 河原の看板をチェック
- 地元の人がいたら川の特徴を聞いておく
- 川のリアルタイム情報などもチェック



Step こんなときはすぐ避難

4

- 雨が降り出した時
- 川が濁りだした時
- 川の水の量が増えてきた時
- パトロールの人や警察、消防、河川管理者から注意があった時

水難事故マップ

過去にどこでどのような事故が起きているかを知っていただくために、全国の水難事故マップをまとめています。

川で活動する際にお役立てください。



全国の水難事故マップ

鳥川・神流川で
水難事故が
発生しています

鳥川では平成16年、中州でアユ釣りをしていた人が雷雨による急な増水で中州に取り残され、防災ヘリで救助される事故が発生。

平成23年には神流川でアユ釣りをしていた人が、前日からの雨で増水していた川に流され死亡する事故が起きています。



河川利用のマナー

河川は公共のものであるため、河川法やその他の法律で規制されている行為以外は、原則として誰でも自由に利用することができます。

しかし、一部の方が独占的に利用してしまうと他の方が自由に利用することができなくなってしまいます。

河川には多くの方が様々な利用目的をもって訪れますので、

他の利用者の方や沿川にお住まいの方に配慮して、お互い譲り合って利用することを心がけてください。

① 他の利用者や近隣住民の迷惑になるような騒音を出さないこと

沿川には多くの方が生活しています。近隣の方の生活環境を守るため、夜間は、大きな音の出る花火、大きな声や音を出して騒がないようにしましょう。

② ゴミやフンは、各自、必ず持ち帰ること

河川は、皆様のものです。近隣にお住まいの方はもちろん、遠くから来られる方や子供達に気持ちよく河川を利用いただき、良い川であると感じてもらえるよう環境を守っていきましょう。

③ 他の利用者のことを考えて、河川敷で遊ぶこと

自転車の高速運転、動物の放し飼い、ゴルフの練習など、他の利用者へ危険や迷惑をかけるような行為は、トラブルや事故となるおそれがあります。「自分は楽しい」ことでも「他の人からは迷惑」ということもあります。「河川敷は楽しいところ」であり続けるために思いやりを持って遊びましょう。

④ バーベキューは、直火で絶対に行わないこと

火災の原因になったり、熱や燃えカスが自然環境や景観を悪化させます。
安全できれいな河川を維持しましょう。



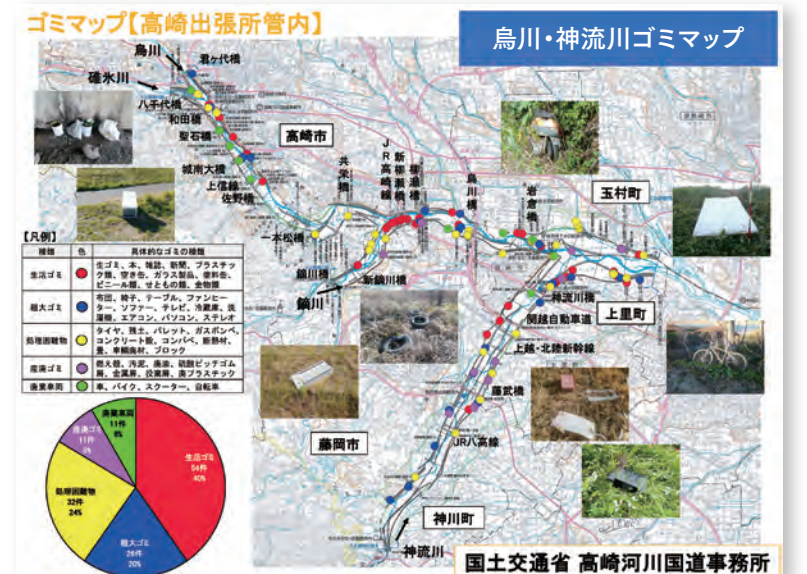
鳥川・神流川ゴミマップ

高崎河川国道事務所では、烏川・神流川・
鏑川・碓氷川の管理区間において、河川パ
トロールで確認した不法投棄の状況をゴミ
マップとしてまとめています。

河川敷等への不法投棄は、洪水時に流出す
るなどの二次被害につながるおそれがあり、
皆様の生活に危険を及ぼしかねません。

安全で美しい川づくりのために、不法投棄
しないよう、皆様のご理解とご協力をお願
いします。

詳しくはコチラ



河川敷の利用に関する情報は高崎河川国道事務所ホームページをご覧ください。

https://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/river_06.html

